

当院での精神疾患を有する母親の置かれている状況と課題

周産母子センター

○南部 桂 大久保 美有紀 西岡 ゆかり
明神 克枝 森本 雅子

当院は神経科精神科の入院病床を持ち、母親が精神疾患を有する新生児の入院が、2007年から2010年までの4年間に52名（全入院数の7.7%）であった。これらの症例は、母児が入院中から、小児科・産科・精神科医師や地域保健師等と退院後の養育が安全に行われるようにカンファレンスを行っている。今回、この52名のデータを集め、母親の置かれている状況を整理し、退院を支援する上での課題を考える機会を得たので報告する。

[平成23年5月14日 第28回 四国新生児医療研究会（徳島）にて発表]